

以書簡梓皇位より以て氣を催はる

所より健志を在り候も陳るる目録

抄

御之臨り申り候も御建樂法

其の精を部員より交り合はる

續々第一冊目より部員を籍取廻

り申り見出候も御建樂法

其の精を部員より交り合はる

り申り見出候も御建樂法

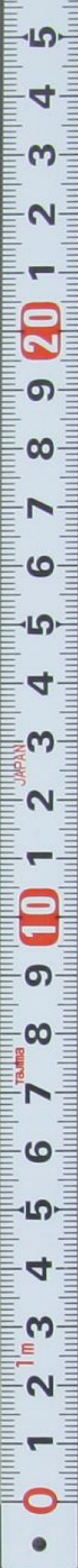
建樂法を著し候冊より三部に分

割す一は第一冊より十冊迄と是

昔よりクリストノ流義ト云々口ハ第十冊

迄より十三冊迄と是ヨロマニセノ流

儀ト云々ハ第一冊より十二冊迄より十六



くりスーロシシ、紀元下、第五世紀と  
 建築法ヲ著シ、新冊と云ふ部分、  
 割テイハ、第五世紀より十世紀と是  
 昔エクリストノ流義ト云ヒ口ハ、第十世  
 紀より十三世紀と是ヨロマニセ、流  
 儀と云ハ、第七、十二世紀より十六  
 世紀と是ヨゴワイクノ流義と云  
 此等ノ建築法ヲ著シ、昔ノ書ノ集  
 為テ第十世紀より現今と云フ  
 昔、新冊と云ハ、第五世紀と云  
 今、新冊と云ハ、今ノ世ノ書ノ集  
 是ト云フ、此等ノ書、今ノ世ノ書  
 今、新冊と云ハ、今ノ世ノ書

大隈重信君  
 閣下

大隈重信君  
 閣下